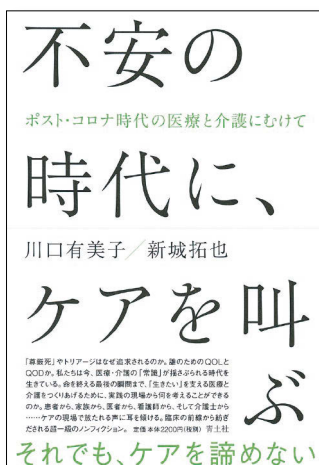




不安の時代に、ケアを叫ぶ

ポスト・コロナ時代の医療と介護にむけて

川口有美子、新城拓也＝著

定価2,420円（本体2,200円＋税10%）

青土社 ☎03-3291-9831

難病 ALS 介助のスペシャリスト・川口有美子さんと、在宅医療で看取りまで寄り添う緩和ケア医・新城拓也さんは、命を終える最後の瞬間まで「生きたい」を支える医療と介護を作り上げるために尽力してきた。その2人が、コロナが席捲した臨床現場でどのような課題にぶち当たりどう対処しているのかを対談により明らかにしていく、リアルなノンフィクション。さまざまな課題と、現場の人たちがリミッターを外してまで支えている現状が垣間見える。

こころの違和感 診察室

じっくりこない自分と折り合いをつける方法

春日武彦＝著

定価935円（本体850円＋税10%）

河出書房新社 ☎03-3404-8611



「嫌なことを忘れられない」「うしろめたい」「傷つきやすい」「嫉妬深い」「劣等感」「被害的になる」「取り越し苦労」など、ふと抱きがちな、でも人には相談しにくい感情の仕組みと処し方が、独特の軽妙な文章によって紐解かれる。筆者が言うように、「柔軟にこの本を使いこなし、肩の荷を軽く」しよう。

ケアする人のためのプロジェクトデザイン

地域で「何かしたい!」と思ったら読む本

西上ありさ＝著

定価2,750円（本体2,500円＋税10%）

医学書院 ☎03-3817-5600



プロジェクトデザイン、と聞くと難しく感じるが、いま「何かしたい!」「こんなことできないか」と考えている方にお薦め。カラフルな見た目や簡単なワーク、お薦め映画まで紹介されている構成も楽しげ。さっと目を通すだけでも頭と心がマッサージされ、アイディアが湧いてきそう。

私の体験的グループワーク論

現場ですぐに役立つ実践技法を伝えます

前田ケイ＝編

定価3,080円（本体2,800円＋税10%）

金剛出版 ☎03-3815-6661



SSTが日本に導入されることに貢献したソーシャルワーカー・前田ケイさんが、クライアントの心に寄り添うグループワークの作り方をその原理も解説しつつ開示している。さまざまな集団のパターンに応じた実践例や課題への対処法、支援のポイントは、医療現場にかぎらず、あらゆる集団で応用が利くはず。

発達障害の子ーくんとお母さんのマンガ子育て日記

裕木晶子＝著、山国英彦＝監修

定価1,540円（本体1,400円＋税10%）

星和書店 ☎03-3329-0031



発達障害と診断された小学生ーくんの日常が4コマ漫画で描かれる。お母さんはそのユニークな言動に戸惑いつつ、「子どもが笑顔になるように」との思いを胸にユーモアを忘れない。ーくんのような子どもの支援にかかわる人に役立つエッセンスが満載。主治医のコメントも理解を助ける。